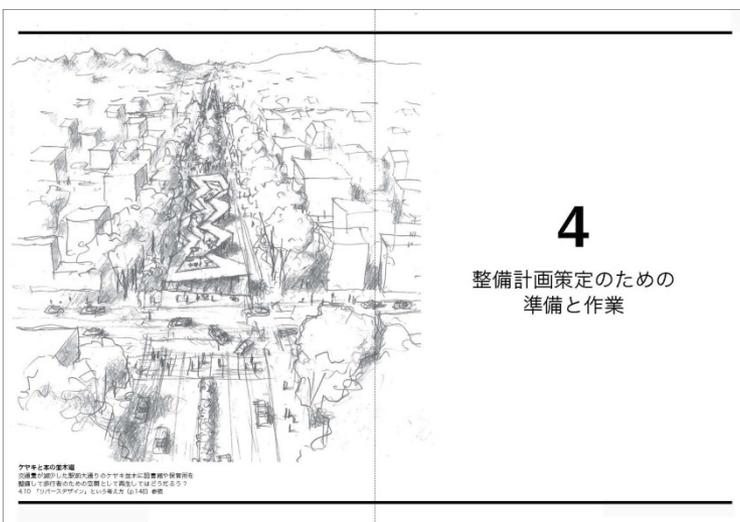


功績賞：早稲田大学理工学研究所・公共所有不動産の経営研究（MoRE）
公共施設マネジメントを移行するための解説書
書籍「公共施設マネジメントのススメ」

…本書はマネジメントの基礎となる情報の収集・利用の話や実行体制の構築、マネジメントを段階的に進めていくことの必要性とその際の考え方や用いるべき手法などについて書かれています。また先進事例として知られている自治体での状況を、当事者でもあった筆者のひとりが詳しく解説しました。



右：表紙
左：扉図



功績賞：早稲田大学理工学研究所・公共所有不動産の経営研究（MoRE）

公共施設マネジメントを実行に移すための解説書 書籍「公共施設マネジメントのススメ」

出版情報

小松幸夫、堤洋樹、池澤龍三：公共施設マネジメントの
ススメ、建築資料研究社、2017.3、978-4-86358-494-5

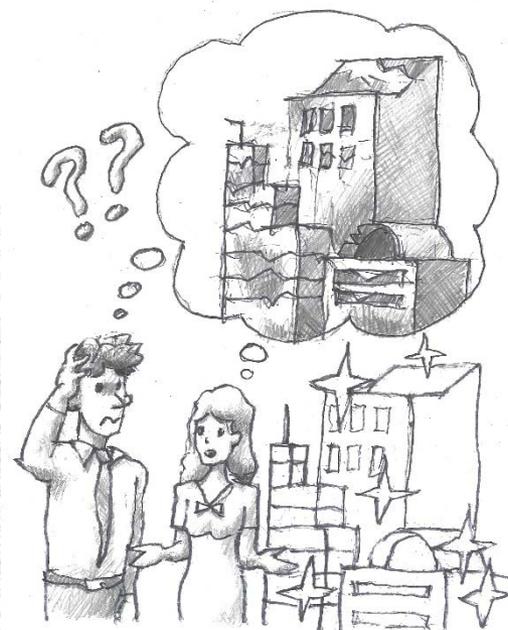
キーワード

公共施設マネジメント / 情報管理 / 施設評価手法 /
(執筆者自身による)実例解説

目次

はじめに この本を手にとられた方へ

- 1 なぜ公共施設マネジメントが必要なのか
- 2 施設マネジメントと建物の長寿命化
- 3 情報管理の仕方
- 4 整備計画策定のための準備と作業
- 5 公共施設マネジメントの実行体制
- 6 実例で見る公共施設マネジメント
- 7 公共施設マネジメントの今後の展開



功績賞：早稲田大学理工学研究所・公共所有不動産の経営研究（MoRE）

公共施設マネジメントを実行に移すための解説書 書籍「公共施設マネジメントのススメ」

MoREの活動趣旨

わが国の地方自治体や政府が所有する公共の不動産は、ストック量の肥大化に伴う総量の適正化、老朽化対応、運営体制の効率化や高度化、ライフサイクルコストの適正化など様々な課題を抱えている。本研究は公共の不動産、特に学校施設を中心として公共施設の運営段階における経営およびマネジメントに関する研究を行う。

2015年以降の主な活動

天理市との共同研究 / 町田市との共同研究 / 奈良県の包括連携協定 / 科研・基盤研究(B)「公立学校を核とした公共施設再編に関する調査研究」 / 科研・基盤研究 (C)：公共施設における協働的ダウンサイジング手法の研究開発 / JST/RISTEX「持続可能な多世代共創社会のデザイン」研究開発領域採用研究「地域を持続可能にする公共資産経営の支援体制の構築」等

※その他、論文・講演・学会活動等多数